

「自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組と目標」の自己評価

団体名	みよし広域連合
担当者名	中浦 裕樹

項目	目標設定の考え方 (現状・課題)	2023 実績	年度	2024	2025	2026	2024年度 取組内容	自己 評価	今後の 課題・対応策など
(記載例) 旧小学校区ごとにサロン活動を展開する。	後期高齢者の増加に伴い、認定者の増加も見込まれるため、介護予防が重要と考える。徒歩で通える拠点を整備することにより、地域活動を広げ、介護予防につなげていく。		目標	80箇所	90箇所	100箇所	7地区で、サロン開設に向けた説明会を開催した。	△	コロナの影響もあり、目標は未達成であるものの、前年度と比べ5箇所増加し、これらの地域では、いきいき百歳体操などが行われている。他地区との交流を進めるほか、サロン活動運営の簡素化などにも取り組む。
		60箇所	実績	65箇所					
認定調査チェック	審査会事務局職員が全件（直営調査・委託調査）調査票・特記事項の点検を行っている。適正な認定調査のためには、効率よく行う工夫が必要となる。		目標	全件	全件	全件	認定調査全件の点検を実施し、不備が認められた場合、認定調査員に確認し、必要に応じて認定調査票を修正するとともに、認定調査の平準化を図っている。	○	調査員のスキルアップのため研修の受講や勉強会・情報共有の場を設け、認定調査の平準化のため直営調査と委託調査をバランスよく行う。
		全件	実績	全件					
ケアプラン点検	自立支援に資するケアマネジメントの実践に向けた支援のため、毎年度テーマを定めて実施している。今度も介護サービス利用者の増加が見込まれる中で、介護支援専門員が限られた資源等を活用して自立支援に資するケアマネジメントが実践できるよう支援が必要となっている。		目標	32件	32件	32件	ケアマネジメントのプロセスを踏まえ自立支援に資する適切なケアプランとなっているかを介護支援専門員とともに検証確認しながら介護支援専門員の気づきを促すとともに健全なる給付の実施を支援している。（休止を除く管内にあるすべての居宅介護支援事業所を対象に実施済。）	○	管内にあるすべての居宅介護支援事業所を対象として面談等によるケアプラン点検を実施することにより、自立支援に資するケアマネジメントの実践に向けた取り組みの支援を行う。
		31件	実績	30件					
住宅改修等の点検	住宅改修については、事前申請時の書類の点検や現地確認調査を行うことで適正な給付につなげることができている。福祉用具調査については、ケアプラン点検の中で利用状況等を確認している。		目標	住宅改修 全件 住宅改修現地調査 12件 福祉用具 40件	住宅改修 全件 住宅改修現地調査 12件 福祉用具 40件	住宅改修 全件 住宅改修現地調査 12件 福祉用具 40件	住宅改修については、事前申請時の書類の点検や工事施工前後の現地調査を行い、受給者の状態にそぐわない不適切又は不要な住宅改修となっていないか確認を行っている。また、福祉用具購入・貸与についても受給者の身体状態に応じて必要な福祉用具の利用となっているか利用状況等の確認を行っている。	○	住宅改修は、改修費が高額、改修規模が大きく複雑、事前申請時又は完了時の書類では現状が分かりにくいケースについても現地調査等を実施していく。福祉用具は、現地調査に加え、ケアプラン点検を活用することで効率的・効果的な事業の実施を行っていく。
		4件	実績	住宅改修 全件 住宅改修現地調査 13件 福祉用具 39件					
縦覧点検・医療情報との突合	徳島県国民健康保険団体連合会に委託し、全件実施していく。		目標	全件	全件	全件	国保連合会介護給付適正化システムにより、介護報酬請求内容の誤り等を早期に発見して適切な処理を行うとともに、医療と介護の重複請求の排除等を図っていく。	○	引き続き委託により全件実施していく。
		全件	実績	全件					

※ 行数が不足する場合等は、適宜追加してください。